

器官制御医学講座 泌尿器科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成14年5月～
准教授	伊藤 秀明	平成18年7月～(平成27年4月～現職)
講師	青木 芳隆	平成5年5月～平成8年6月、平成16年4月～(平成27年3月～現職)
講師	福島 正人	平成28年6月～(平成31年4月～現職)
助教	多賀 峰克	平成18年4月～平成21年3月、平成23年4月～平成25年1月、平成25年4月～(平成26年10月～現職)
助教	関 雅也	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～(平成28年4月～現職)
助教	稲村 聡	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～平成27年3月、平成28年5月～(平成29年4月～現職)
助教	小林 久人	平成23年4月～平成26年3月、平成28年4月～(平成31年4月～現職)
助教	堤内 真実	平成22年4月～平成25年3月、平成27年4月～(令和2年4月～現職)

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖であるE-selectinが腎癌細胞に発現し、予後不良のマーカーになることを示した。

- 2) 腎臓部門

2-1) 抗コリン薬は夜間多尿を改善することを報告してきた。抗コリン薬の他にもメラトニンや睡眠薬でも尿量を減少させる可能性を報告してきたが、そのメカニズムとして膀胱上皮を介する水吸収は否定的である。尿管に直接カニューレションする方法で尿量を測定し、腎のアクアポリン2の免疫染色やcAMPの測定を行って、抗コリン薬が腎集合管のアクアポリン2を介するメカニズムを介して尿を吸収することを報告した。

- 3) 下部尿路機能部門

3-1) 2型糖尿病モデルとしてOLETFラットを用いて、前立腺重量に対するphosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の影響について検討を行った。その結果、OLETFラットには前立腺血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、またPDE5iは血流を改善し前立腺重量の減少をもたらすことが解明された。そのメカニズムとして血流改善に伴い前立腺組織内の炎症性サイトカインの減少やIGFなどの増殖因子の低下を介して前立腺重量の減少を惹起した可能性があることを解明した。

現在投稿中である。

3-2) 前立腺肥大症において高内皮細静脈 (HEV) 様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメーターとよく相関する。さらに、生活習慣が前立腺の慢性炎症に及ぼす影響についても研究を行っている。特に喫煙・禁煙期間が前立腺の慢性炎症の程度と関係することを解明した。その結果をInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。

3-3) 福井県下の高齢者施設との共同研究として、フレイルと下部尿路機能障害、特に過活動膀胱との関連が深いことを解明した。また高齢者の高血圧に投与される降圧薬や睡眠薬などは抗コリン作用があり、近年抗コリン負荷をして認知機能との関連が注目されている。施設入所高齢者の抗コリン負荷をそれぞれ算定し、下部尿路機能との関連を解析した。その結果、降圧薬を投与している高齢者では排尿効率が悪いこと、すなわち残尿が多いことが解明され報告した。

3-4) 夜間頻尿は睡眠障害、夜間多尿、膀胱蓄尿障害が原因であるが、どの因子がより強く関与するかはわかっていない。われわれは睡眠に関する質問票とIPSSなどを用いて年代別の夜間頻尿に影響する因子を解明した。60代、70代では睡眠がより強く影響した。

- 5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導料が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しが行なわれると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、心理ストレス、性機能障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、感染、閉塞

業績年の進捗状況

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 夜間頻尿診療ガイドライン（第2版）、過活動膀胱診療ガイドライン（第3版）の作成委員として活動した。
- 3) 当部門の特色として性行動障害などの性機能障害を下部尿路機能障害、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。
- 5) フレイル高齢者の下部尿路機能障害を多面的に解析し、新たな治療に繋げる試みを行っている。
- 6) 睡眠障害は高齢者に多いが、夜間頻尿の発生に強く関わっている。睡眠の質を改善することが夜間頻尿の改善に寄与するという仮説をたて前向き研究を行っている。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文		13	1	—	—
	ファーストオーサー	18	1	45.17(45.17)	2.445(2.445)
	コレスポンディングオーサー	15	1	31.693(31.693)	2.445(2.445)
	その他	11	2	44.052(44.052)	10.53(4.605)
	合計	30	3	92.39(92.39)	12.975(7.05)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編纂・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2041093

Hasegawa K, Ito H, Kaseno K, Miyazaki S, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Ohno S, Horie M, Yokoyama O, Tada H: Impact of medical castration on malignant arrhythmias in patients with prostate cancer, J Am Heart Assoc, 10(5), e017267-e017267, 202102, DOI: 10.1161/JAHA.120.017267, #4, 605

2041094

S. Inamura, H. Ito, H. Oe, M. Seki, M. Taga, M. Kobayashi, O. Yokoyama: Duration of smoking cessation is negatively associated with the magnitude of chronic prostatic inflammation and storage dysfunction in patients with benign prostatic hyperplasia, International journal of urology, 27(10), 874-881, 202010, DOI: 10.1111/iju.14320, #2, 445

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

2041095

Jori S Pesonen, Robin WM Vernooij, Rufus Cartwright, Yoshitaka Aoki, Arnav Agarwal, Altaf Mangera, Alayne D Markland, Johnson F Tsui, Henrikki Santti, Tomas L Griebing, Alexey E Pryalukhin, Jarno Riikonen, Riikka M Tähtinen, Camille P Vaughan, Theodore M Johnson, Diane Heels-Ansdell, Gordon H Guyatt, Kari A0 Tikkinen: The impact of nocturia on falls and fractures: a systematic review and meta-analysis, The Journal of urology, 203(4), 674-683, 20200401, DOI: 10.1097/JU.0000000000000459, #5, 925

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2041096

Hideaki Ito: Editorial Comment to Complete Puborectalis, Puboperinealis muscle and Urethral Rhabdomyosphincter Preservation in Laparoscopic Radical Prostatectomy. Anatomic Landmarks to achieve early Urinary Continence, INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY, 27(6), 536-537, 202006, DOI: 10.1111/iju.14246, #2, 445

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

2041097

伊藤 秀明: 前立腺疾患（前立腺肥大症、前立腺がん）、南江堂、20200328, DOI: 45242497X

b. 著書（分担執筆）

2041098

青木 芳隆、若松 ひろ子、鈴木 基文: 過活動膀胱、メディカ出版、114-129, 202005, 978-4-8404-7230-2

c. 編纂・編集・監修

2041099

青木 芳隆: 一般社団法人 日本排尿機能学会 標準用語集 第1版、中外医学社、202005, DOI: 978-4-498-06434-8

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2041100

稲村 聡、横山 修: 夜間頻尿の薬物療法、日本排尿機能学会誌, 30(2), 367-369, 20200530

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

2041101

堀 康恵、五十嵐 千秋、青木 芳隆、大内 ふみか: 排尿ケアチームを院内で認知してもらうための工夫-排尿自立支援を要する患者さんを見逃さないために-: 理学療法士・作業療法士の立場から、泌尿器care&care Uro-Lo, 26(1), 21-25, 20210225

2041102

横山 修、本田 正史、山西 友典、関口 由紀、藤井 健司、中山 高志、茂木 貴央: A型ボツリヌス毒素製剤(Botulinum Toxin Type A)の過活動膀胱に対する臨床評価-プラセボ対照二重盲検群間比較試験ならびにオープンラベル反復投与試験(最終解析結果)-, 泌尿器外科, 33(7), 999-1007, 202007

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2041103

横山 修: 夜間多尿に対する薬物療法、排尿障害プラクティス, 28(1), 50-55, 20200630

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2041104 横山 修: OASIS Projectからみる夜間頻尿治療Up to date～新・夜間頻尿診療 ガイドラインで何が変わるか～, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201114

2041105 横山 修: Women's Pelvic Healthのための新たな治療戦略-ボトックス膀胱内注入療法にける期待-, 第22回日本女性骨盤底医学会, Web開催, 20210116

2041106 横山 修: 前立腺肥大症: 薬物療法の限界と手術療法, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201222

b. シンポジスト・パネリスト等

2041107 青木 芳隆: 多職種で取組もう! 排尿自立支援, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201114

2041108 青木 芳隆: 過活動膀胱 診断と治療における多角的アプローチ, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201113

2041109 青木 芳隆: 多職種で取り組む排尿ケアはどう変わったか, 第27回日本排尿機能学会, 品川区, 20201015

2041110 福島 正人: 腹腔鏡下仙骨腫固定術は万能か?, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201112

2041111 青木 芳隆: 過活動膀胱の薬物治療, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201112

2041112 伊藤 秀明: 一地方大学における術式の導入と教育の取り組み, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201114

c. 一般講演（口演）

2041113 小林 久人、査 新民、糸賀 明子、伊藤 秀明、横山 修: PDE-5阻害薬は2型糖尿病ラットの血中テストステロン値を上昇させ、前立腺重量減少に寄与する, 日本アンドロロジー学会, 金沢市, 20210115

2041114 小林 久人、査 新民、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、土山 克樹、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修: ラット糖尿病モデルの膀胱機能に対するphosphodiesterase 5 inhibitorの影響について, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201223

2041115 谷尾 信、伊藤 秀明、小林 久人、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、土山 克樹、福島 正人、青木 芳隆、横山 修: 当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの治療成績～1か月後のPSA低下率が全生存期間に影響する～, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201224

d. 一般講演（ポスター）

2041116 青木 芳隆、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、土山 克樹、福島 正人、伊藤 秀明、横山 修: 夜間頻尿とメタボリック症候群との関係: 尿意切迫感の有無は影響するの?, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201224

2041117 大江 秀樹、吉木 はつみ、査 新民、小林 久人、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修: ラット腎臓における抗コリン薬を介した尿再吸収に関する検討, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201222

2041118 吹上 優介、兜 貴史、横川 竜生、黒沢 学: Mucin-producing urothelial-type adenocarcinoma of the prostateの1例, 第108回日本泌尿器科学会総会, 神戸市, 20201224

e. 一般講演

2041119 小森 真衣子: 腎細胞癌に対する根治的手術から5年以上経過後に再発した症例の検討, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, Web開催, 20201114

2041120 青木 芳隆: 尿失禁・過活動膀胱に対する骨盤底筋トレーニングと薬物療法について, 第53回福井泌尿器科フォーラム, Web開催, 20201126

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2041121 横山 修: 前立腺肥大症と炎症-新たな病態から治療に迫る-, 第6回大阪ABP Webセミナー, 20200730

b. シンポジスト・パネリスト等

2041122 青木 芳隆: 多職種で取組もう! 排尿自立支援, 第70回日本泌尿器科学会中部総会, 金沢市, 20201114

c. 一般講演（口演）

2041123 大江 秀樹、吉木 はつみ、査 新民、小林 久人、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修: ラット腎臓における抗コリン薬を介した尿再吸収に関する検討, 第24回北陸泌尿器科Basic Research Meeting, Web開催, 20210313

2041124 糸賀 明子、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修: 2型糖尿病ラットにおいてPDE-5阻害薬は性ホルモンバランスを是正し性行動障害を改善する, 第20回 日本Men's Health医学会, Web開催, 20201009

2041125 土山 克樹、堤内 真実、小林 久人、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修: 進行性尿路性器癌において癌治療終了に関する患者本人の意思決定が予後、緩和的治療に与える影響, 第467回日本泌尿器科学会北陸地方会, 20200905

2041126 堤内真実、徐元錫、土山克樹、福島正人、青木芳隆、伊藤秀明、横山修: 当院における進行性腎癌の薬物治療の検討, 第468回日本泌尿器科学会北陸地方会, Web開催, 20210313

業績一覧

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2041127

奥村 悦久、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：根治的腎摘出術から26年後に顎下腺、28年後に肺に転移した腎細胞癌の一例、第467回日本泌尿器科学会北陸地方会，Web開催，20200905

2041128

齊川 詩織、多賀 峰克、吹上 優介、松田 安史、鈴木 孝二、山口 愛奈、福島 万奈、今村 好章、伊藤 秀明、横山 修：腎原発Ewing肉腫の一例，第468回日本泌尿器科学会北陸地方会，Web開催，20210313

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

2041129

横山 修：OASIS Projectからみる夜間頻尿治療Up to date-新・夜間頻尿診療ガイドラインで何が変わるか-，福井大学とテレワーク（Zoom）で結ぶ 夜間頻尿 治療啓発セミナー，福井大学，20200625

2041130

伊藤 秀明：進行性前立腺癌に対する新しい治療戦略，福井県進行性前立腺癌講演会，福井市，20210311

2041131

堤内 真実：ヒト末梢リンパ節の高内皮細静脈におけるシリアル6' 硫酸化Nアセチルラク トサミンで覆われたO結合型糖鎖の選択的発現，第20回 越水会セミナー，福井市，20201003

2041132

青木 芳隆：排尿ケアに関する最近の話題，排尿ケアを考える会，Web開催，20210320

2041133

青木 芳隆：多職種で解決！夜間頻尿と排尿障害，第19回西濃泌尿器フォーラム，大垣市，20201021

2041134

伊藤 秀明：変わる！進行性前立腺癌に対する新しい治療戦略，前立腺研究会in能登，Web開催，20210317

2041135

伊藤 秀明：進行性前立腺癌に対する治療～最近の話題と今後の課題～，福井県CRPC化学療法Web講演会，福井市，20201207

2041136

横山 修：超高齢化社会における過活動膀胱治療～β3作動薬の有用性を考える～，Betanis Speakers Meeting，Web開催，20210321

2041137

横山 修：夜間多尿の病態/治療Up to date-新・夜間頻尿診療ガイドラインで何が変わるか-，ミニリンメルト0D錠 Web講演会，20200822

2041138

横山 修：知って得する夜間多尿の原因と対策，ミニリンメルト0D錠・発売1周年記念講演会，Web開催，20200929

2041139

横山 修：知って得する夜間多尿の原因と対策，富山県泌尿器科木曜会，富山市，20201217

b. シンポジスト・パネリスト等

2041140

関 雅也：「過活動膀胱の最近の話題」～心理ストレスに伴う畜尿障害と高血圧も含めて～，第20回 越水会セミナー，福井市，20201003

c. 一般講演（口演）

2041141

稲村 聡：過活動膀胱の最近の話題，福井県泌尿器科医会講演会，福井市，20201022

2041142

吹上 優介、青木 芳隆、大山 伸幸、小林 久人、堤内 真実、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、伊藤 秀明、塩浦 宏樹、横山 修：福井大学医学部附属病院における前立腺癌放射線治療後の膀胱癌発生に関する検討，第24回北陸腎泌尿器癌研究会，Web開催，20200905

2041143

青木 芳隆：排尿ケアの普及とその際の薬物治療について考える，過活動膀胱（OAB）WEBシンポジウム，20200907

2041144

多賀 峰克：福井大学でのBRCA遺伝子検査の運用，福井県泌尿器科医会講演会，福井市，20210318

2041145

多賀 峰克：mHSPC前立腺癌の治療戦略，第54回福井泌尿器科フォーラム，福井市，20210121

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2041146

稲村 聡：慢性炎症に着目した前立腺肥大症の病態と薬物治療，福井大学とテレワーク（Zoom）で結ぶ 夜間頻尿 治療啓発セミナー，福井大学，20200625

2041147

青木 芳隆：排尿ケアにおける超音波検査の有用性，泌尿器科におけるワイヤレスエコーの活用講演，Web開催，20210312

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	腎アクアポリン分子をターゲットとした夜間多尿対策：有効かつ安全な治療を目指して	横山 修	伊藤 秀明、小林 基弘、多賀 峰克、青木 芳隆、大江 秀樹	20200401-20230331	¥2,340,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	微小乳頭型膀胱癌を用いたMUC1がPD-L1へ及ぼす影響	品川 友親		20180401-20210331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	夜間多尿の新戦略：膀胱における知覚C線維を介した尿吸収を目指して	大江 秀樹		20190401-20220331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	microの解剖学的位置に注目した前立腺肥大症の炎症の病態の研究	稲村 聡		20190401-20220331	¥585,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	旭化成ファーマ株式会社	ラット間質性膀胱炎モデルにおけるトロポモデュリンの作用	横山 修、長瀬 桂子、兜 貴史	20180522-20200630	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	株式会社リニカル、アストラゼネカ株式会社	新規に進行卵巣癌と診断された患者の腫瘍組織BRCA1/2遺伝子変異の保有率に関する横断研究（CHRISTELLE study）	津吉 秀昭	20200512-20210930	¥264,000
受託研究	ヤンセンファーマ株式会社 （代理人：IQVIAサービシズ ジャパン株式会社）	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naïve Prostate Cancer in Japan	伊藤 秀明	20200901-20251231	¥979,000
受託研究	日本新薬株式会社	ラット2型糖尿病モデルにおける膀胱機能への炎症の影響～Tadalafil投与によりどう変化するか～	横山 修	20200914-20220331	¥4,004,000
受託研究	特定非営利活動法人J-Cap研究会	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究	伊藤 秀明	20161201-20290331	¥469,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	6
受入金額	¥3,900,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第54回福井泌尿器科フォーラム	20210121-20210121	福井市
その他の研究集会	主催者	第53回福井泌尿器科フォーラム	20201126-20201126	福井市
その他の研究集会	主催者	第52回福井泌尿器科フォーラム	20200716-20200716	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本泌尿器科学会	財務委員会 委員長	横山 修
日本Men's Health医学会	理事	横山 修
日本泌尿器科学会	ボーディングメンバー	横山 修
International Journal of Urology	Editorial Board	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本老年泌尿器科学会	理事	横山 修
日本排尿機能学会	代議員	横山 修
日本泌尿器科学会	代議員	横山 修
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事	横山 修
日本性機能学会	理事	横山 修
日本アンドロロジー学会	監事	横山 修
日本脊髄障害医学会	評議員	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員	横山 修
日本性機能学会	評議員	横山 修
日本排尿機能学会	評議員	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員	横山 修
ミミ創 内視鏡下泌尿器手術研究会	世話人	横山 修
泌尿器科紀要	Editorial Board	横山 修
日本泌尿器内視鏡学会	代議員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本内視鏡外科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等	日本アンドロロジー学会第39回学術大会・第30回日本性機能学会中部総会	横山 修
一般講演 (口演)	第54回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
シンポジウム等	CVP (接触式レーザー前立腺蒸散術) Web Seminar	横山 修
招待・特別講演等	Oncology Web Symposium RGC in 福	横山 修
シンポジウム等	ミニリンメルト00錠50 μ g・25 μ g発売1周年記念Web講演会	横山 修
シンポジウム等	第27回日本排尿機能学会	横山 修
一般講演 (口演)	第52回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
招待・特別講演等	第33回日本老年泌尿器科学会	横山 修
一般講演 (口演)	福井県泌尿器科医会9月例会	横山 修
招待・特別講演等	第53回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
招待・特別講演等	第108回日本泌尿器科学会総会	横山 修
招待・特別講演等	福井県進行性前立腺癌講演会	横山 修
一般講演 (口演)	第70回日本泌尿器科学会中部総会	横山 修
招待・特別講演等	福井県前立腺癌最新情報Webセミナー	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会2月例会	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会講演会	横山 修
シンポジウム等	ミニリンメルト00錠50 μ g・25 μ g発売1周年記念Web講演会	横山 修
シンポジウム等	第2回ふくい排せつケア研究会	横山 修
招待・特別講演等	GSK OAB Forum	横山 修
一般講演 (口演)	福井県泌尿器科医会講演会	横山 修
招待・特別講演等	福井県進行性前立腺癌Web講演会	横山 修
一般講演 (口演)	I-O WEBエリアセミ	伊藤 秀明
一般講演 (口演)	第54回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明
一般講演 (口演)	福井県泌尿器科医会講演会	伊藤 秀明
一般講演 (口演)	Merck&Pfizer hybrid symposium in福井	伊藤 秀明
一般講演 (口演)	第52回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明
一般講演 (口演)	第467回日本泌尿器科学会北陸地方会	青木 芳隆
シンポジウム等	第2回ふくい排せつケア研究会	青木 芳隆
一般講演 (口演)	福井県泌尿器科医会9月例会	青木 芳隆
一般講演 (口演)	第33回日本老年泌尿器科学会	青木 芳隆
一般講演 (口演)	第467回日本泌尿器科学会北陸地方会	福島正人
一般講演 (口演)	第467回日本泌尿器科学会北陸地方会	多賀峰克

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査) ・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	----------------	----	------

(E) その他